

IEEE1394 MAGNETO- OPTICAL DISK UNIT

LMO-AxxFシリーズ

MOユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
ご注意	6
第 1 章 製品のご紹介	7
1 . 1 製品の特徴	7
1 . 2 各部の名称と機能	10
1 . 3 接続の前に	12
第 2 章 Windows Me , 98 Second Edition の場合	14
2 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート	14
2 . 2 接続について	15
2 . 3 フォーマットについて	18
2 . 4 メディアのセットと取り出し	20
2 . 5 本製品を取り外す場合は	21
第 3 章 Windows XP , 2000 の場合	23
3 . 1 接続について	23
3 . 2 フォーマットについて	26
3 . 3 メディアのセットと取り出し	27
3 . 4 本製品を取り外す場合は	28
第 4 章 Macintosh の場合	30
4 . 1 接続とインストール	30
4 . 1 . 1 ドライバのインストール	30
4 . 1 . 2 本製品の接続	33
4 . 2 MO メディアのフォーマット	35
4 . 3 メディアのセットと取り出し	38
4 . 4 補足説明	39
第 5 章 補足事項	40
5 . 1 トラブルシューティング	40
5 . 2 IEEE1394 機器の増設について	44
5 . 3 保守とその他	46
ハードウェア仕様	48

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

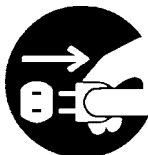
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

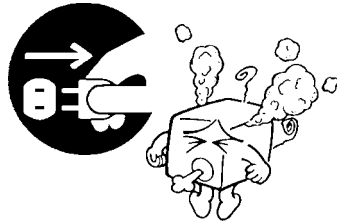


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

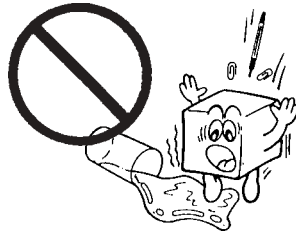
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

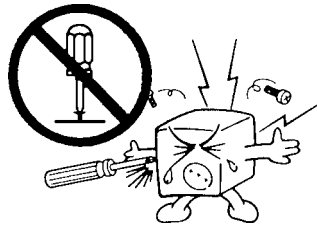
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

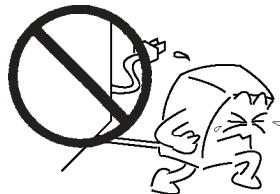
使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



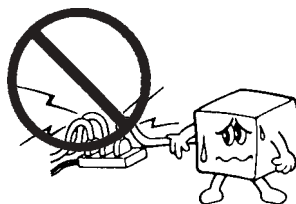
ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

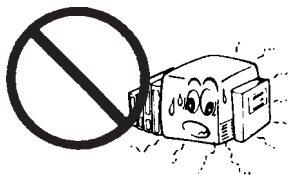
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



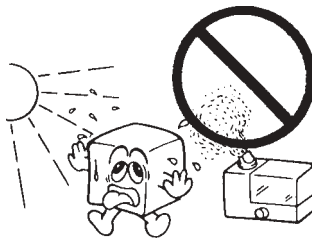
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



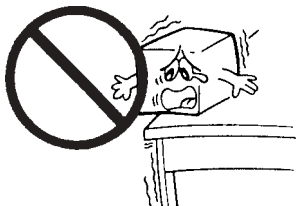
通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

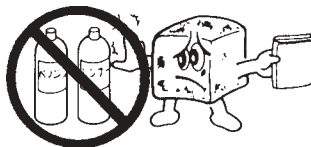


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

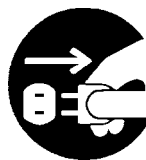


⚠ 注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。





ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。
(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

付属品の確認

MO ユニット	1 台
AC アダプタ	1 個
IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 6 ピン)	1 本
IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 4 ピン)	1 本
縦置き用スタンド	1 セット
横置き用ゴム足	1 セット
「LogitechWare」CD-ROM	1 枚
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
MO ユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送の際には必ず付属の梱包材をご使用ください。

*MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OS、FireWireは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。i.LINKはソニー株式会社の商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第 1 章 製品のご紹介

1.1 製品の特徴

本製品は IEEE1394 対応の MO ユニットです。

本製品の特徴

世界標準の ISO 規格に準拠する MO メディアを使用できます。(使用可能な MO メディアの容量やタイプについては、11 ページをご参照ください。) MO メディアの判別は自動判別で行なわれます。

インターフェースとして採用している IEEE1394 は、最大データ転送速度 400Mbps (理論値) を誇る高速インターフェースです。

また、ターミネータや ID ナンバーの設定が不要ですので、手軽に接続することができます。

本製品のような IEEE1394 機器はホットプラグをサポートしていますから、パソコン本体の電源が ON になっている状態でも接続 / 取り外しを行うことができます。

IEEE1394 コネクタを 2 個実装しているため、IEEE1394 機器の増設も可能です。

美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、さらに安定したパフォーマンスが実現されています。



参考

アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。

コンパクトで設置に場所を取りません。設置方向は縦置き / 横置きどちらも可能です。



ご注意

- ・本製品はセルフパワー（ACアダプタを使用）で動作します。バスパワー（IEEE1394ポートからの電源供給）では動作しません。
- ・本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。
- ・IEEE1394はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがあります。すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

対応パソコンについて

本製品はパソコン本体に接続して使用することができます。すべてIEEE1394ポートを標準搭載しているか、IEEE1394インターフェースボードを接続可能な機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	
	iMac (Early 2001)、iMac (Flat Panel)、iMac DV
	Power Mac G5、Power Mac G4
	Power Macintosh G3 (Blue and White)
	iBook (Dual USB)、iBook (FireWire)、iBook (Late 2001)
	PowerBook (FireWire)、PowerBook G4
	eMac

対応 OS について

本製品は以下のOSで使用することができます。すべて日本語OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社	
	Windows XP HomeEdition/Professional
	Windows Me
	Windows 98 Second Edition (*1)
	Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社	
	Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2 (FireWire 2.0以降)(*2)
	Mac OS X 10.0.4 ~ 10.2.6 まで

*1 IEEE1394 アップデータ 要導入(「2.1 IEEE1394ドライバのアップデート」参照)

*2 Mac OS 9以降でFireWire 2.3.3以上を導入した環境を推奨



ご注意

本製品を Windows 95 や Second Edition でない Windows 98 で使用することはできません。

機種と使用可能なメディアについて

本製品には以下のような機種がラインアップされています。

型番が「LMO-A6」で始まる機種 640MB 対応の機種です。

型番が「LMO-A13」で始まる機種 1.3GB 対応の機種です。

それぞれの機種では、下表で のついたMOメディアを使用することができます。

標準 = 標準タイプ OW = オーバライトタイプ

		640MB対応の機種	1.3GB対応の機種
128MB	標準		
	OW	-	
230MB	標準		
	OW		
540MB	標準		
	OW		
640MB	標準		
	OW		
1.3GB	標準	×	
	OW	-	

= 使用可能 × = 使用不可

- = このタイプは現在発売されていません。



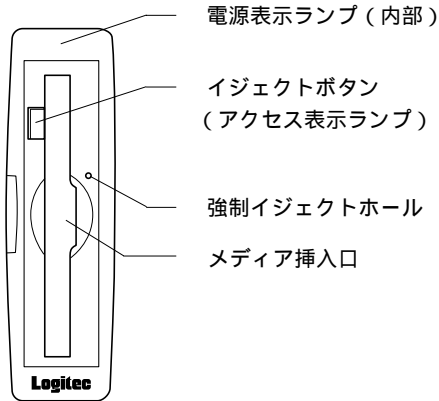
ご注意

他の MO ユニットとのデータ交換には、128MB の MO メディアは使用しないで下さい。(この用途は補償範囲外とさせていただきます。)

これは128MBのMOユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には230MB以上のMOメディアをご使用ください。

1 . 2 各部の名称と機能

本製品前面



電源表示ランプ（内部）

本製品の電源が ON になると内部のランプが点灯します。

イジェクトボタン（アクセス表示ランプ）

パソコン本体の OS が起動していないときに、MO メディアを取り出したい場合に使用します。また、このボタンにはアクセス表示ランプの機能もあり、本製品にセットされた MO メディアにアクセスが行われると内部のランプが点滅します。

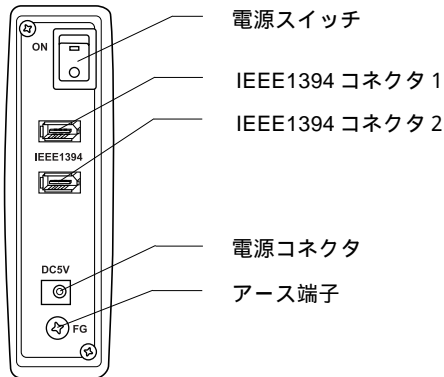
強制イジェクトホール

何かの原因でイジェクトボタンを押しても MO メディアが取り出せなくなったときに使用します。詳細については第 5 章の「5 . 1 トラブルシューティング」をご参照ください。

メディア挿入口

MO メディアをセットする部分です。

本製品背面



電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

IEEE1394 コネクタ 1

IEEE1394 コネクタ 2

どちらか片方を、付属の IEEE1394 ケーブルでパソコン本体の IEEE1394 ポートと接続します。パソコン本体との接続に使用しなかったコネクタは、IEEE1394 機器を増設するときに使用します。

電源コネクタ

付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

アース端子

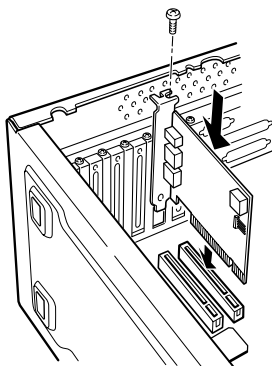
太くて短い導線などで、パソコン本体のフレームグランド端子と接続すると、静電気などの外部ノイズに対して強くなります。

1.3 接続の前に

IEEE1394 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に IEEE1394 ポートがない場合は、別売の IEEE1394 インターフェイスボード（PCIバス用 IEEE1394 インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 IEEE1394 インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に IEEE1394 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって、接続やドライバのインストール等を行っておいてください。（本書の第2章以下はすべてこれらの作業が終了していることを前提としています。）



IEEE1394 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものを推奨します。

PCIバス用 IEEE1394 インターフェイスボード

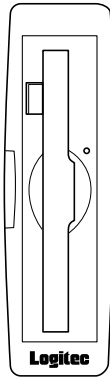
型番	バス	備考
LHA - 1394V	PCI	インターフェイスボード単体
LVC - MG 2L		ビデオ活用キット

CardBus 対応 IEEE1394 インターフェイスカード

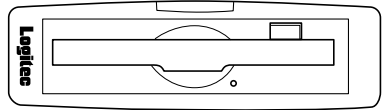
型番	バス	備考
LPM - CB 1394L	CardBus	インターフェイスカード単体

設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも設置できますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。

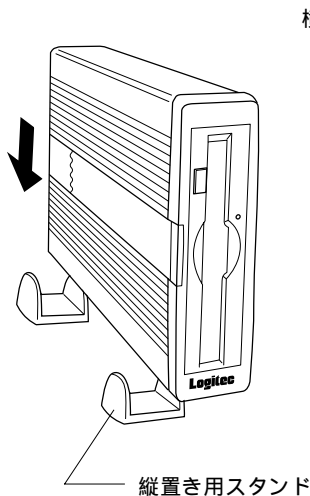


縦置きの場合

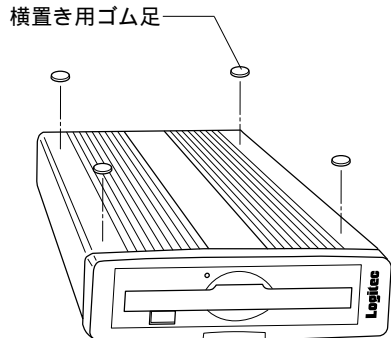


横置きの場合

縦置きの場合は付属の「縦置き用スタンド」をご使用ください。また、横置きの場合は付属の「横置き用ゴム足」を底面に貼付してください。



縦置き用スタンド



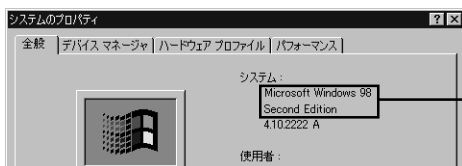
上図は底面を上にするため、通常の設置方向と逆になっています。ご注意ください。

第2章

Windows® Me , 98 Second Edition の場合

本章では Windows Me および Windows 98 Second Edition で本製品の接続、MO メディアのフォーマットなどを行う手順を説明します。

ご使用の OS が Windows 98 の場合、Second Edition でないと本製品を使用することはできません。ご使用の Windows 98 が Second Edition かどうかを確認したい場合は、「コントロールパネル」 「システム」を起動してください。



この部分を
確認

上記の部分に「Windows 98 Second Edition」と記載されていれば、本製品を使用することができます。

2 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「LogitecWare」CD-ROM に収録されています。そのため、Windows 98 Second Edition をご使用の場合、以降の作業を行う前に、CD-ROM の以下のフォルダに保存された説明ファイル「README.HTML」をご熟読の上、実行ファイル「242975JPN8.EXE」を実行してください。

保存フォルダ : %DRIVERS%\MICROSOFT\1394

説明ファイル : README.HTML (README)

実行ファイル : 242975JPN8.EXE (242975JPN8)

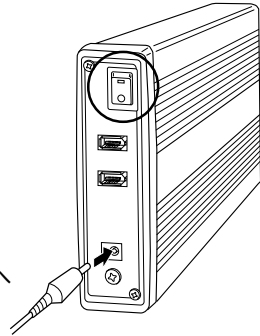
2.2 接続について

本製品の接続は以下の手順で行ってください。

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。

AC100V の
コンセントへ

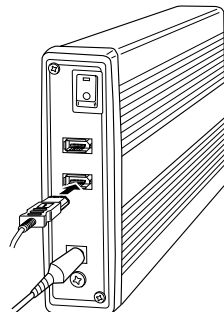


ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

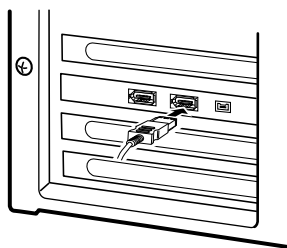
本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。本製品に IEEE1394 コネクタは 2 個ありますが、どちらを使用してもかまいません。ここで使用しないコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままでかまいません。

IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 4 ピン) を使用する場合は、6 ピンのコネクタ (大きい方) を本製品に接続してください。



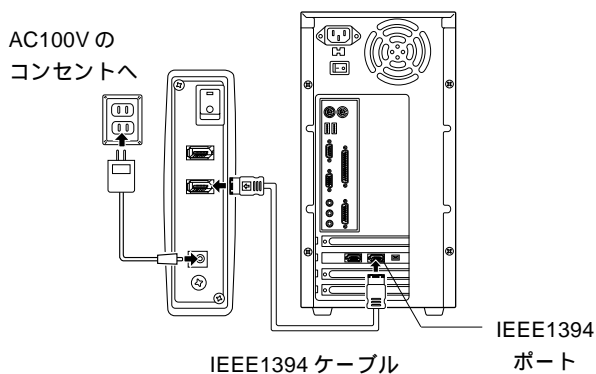
2.2 接続について

IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE 1394 ポートに接続します。



2

下の接続図を参考にして、全体の接続が間違っていないことを確認してください。



Point

ポイント

複数の IEEE1394 機器を接続したい場合は、第 5 章の「5.2 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

接続が正常に終了すると、本製品がプラグ&プレイで認識され、ドライバが読み込まれます。(この部分は自動で行われるため、通常、ユーザーが行わなければならない作業はありません。もし、WindowsのCD-ROMを要求するウィンドウが表示された場合は、指示にしたがってCD-ROMをセットしてください。)読み込みが完了したら、デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、下のように新しい「リムーバブルディスク」のアイコンが登録されていることを確認してください。



本製品にフォーマットされたMOメディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットしたMOメディアにアクセスすることができます。MOメディアのフォーマットについては、次ページをご参照ください。

2.3 フォーマットについて

Windows Me, 98 の場合、MO メディアのフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリックします。

Point

ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクイジェクトツール」と「MO 補助ドライバ」が含まれています。これらのユーティリティは本製品を使用する上で必要ですので、必ずインストールしてください。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマッタ」をクリックすることで起動できます。



2

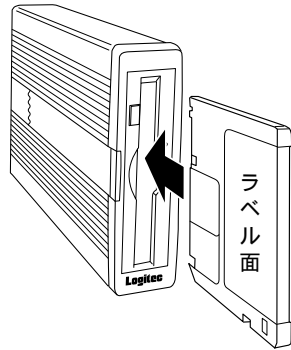
また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



ディスクフォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」「MOメディアのフォーマット」をご参照ください。

2 . 4 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



2



ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Windows Me , 98 Second Edition 上でMOメディアを取り出したい場合は、ディスクユーティリティインストール時にインストールされたイジェクトツールを使用します。タスクバーの右図のアイコンをクリックして、表示されるメニューから本製品のドライブ名を選択してください。



このアイコンをクリックします。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows 稼働中は使用しないでください。

2 . 5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

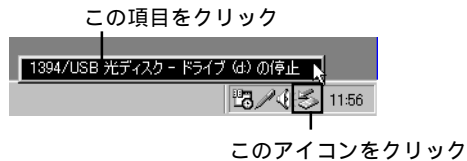
本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「IEEE 1394 光ディスク - ドライブ(d:)の停止」、または「1394/USB 光ディスク - ドライブ(d:)の停止」を選択してください。

Windows Me の場合



Windows 98 Second Edition の場合



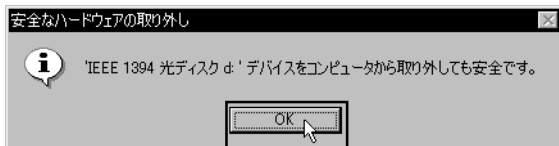
Point

ポイント

ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

「IEEE 1394 光ディスク d: デバイスをコンピュータから取り外しても安全です」または「1394/USB 光ディスク d: デバイスをコンピュータから取り外しても安全です」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の場合



OK ボタンをクリック

Windows 98 Second Edition の場合



OK ボタンをクリック

IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第3章

Windows® XP ,2000の場合

3.1 接続について

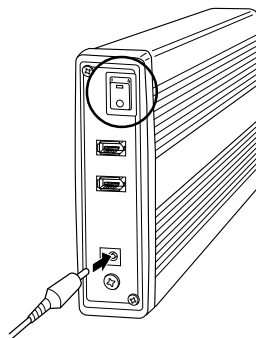
Windows XP ,2000の場合、本製品を使用するためのソフトウェアはすべて標準添付されています。そのため、本製品を接続するとすぐに本製品を使用可能な状態になります。

Point

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators グループ」等）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続してください。ACアダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。

AC100Vの
コンセントへ



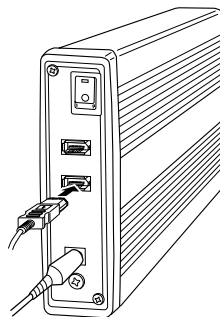
ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

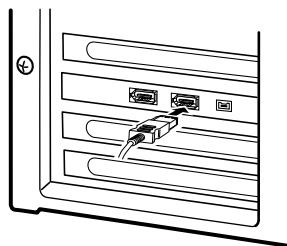
3.1 接続について

本製品に付属のIEEE1394ケーブルを接続します。本製品にIEEE1394コネクタは2個ありますが、どちらを使用してもかまいません。ここで使用しないコネクタは、IEEE1394機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままでもかまいません。

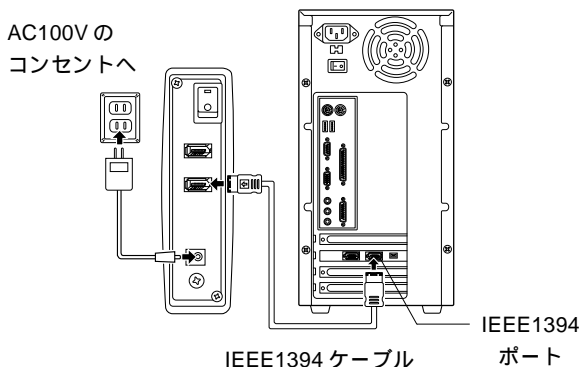
IEEE1394ケーブル（6ピン - 4ピン）を使用する場合は、6ピンのコネクタ（大きい方）を本製品に接続してください。



IEEE1394ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体のIEEE1394ポートに接続します。



下の接続図を参考にして、全体の接続が間違っていないことを確認してください。



Point

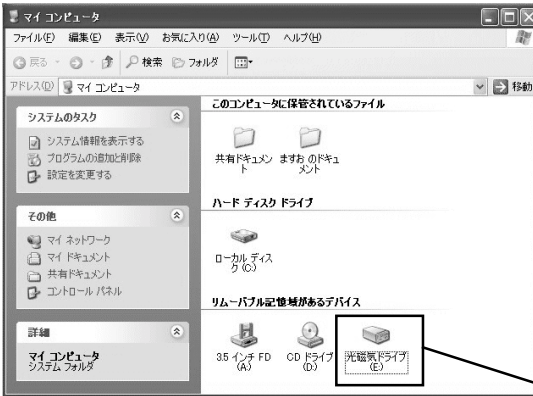
ポイント

複数のIEEE1394機器を接続したい場合は、第5章の「5.2 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

接続が正常に終了すると、本製品がプラグ&プレイで認識され、ドライバが読み込まれます。(この部分はすべて自動で行われるため、ユーザーが行わなければならない作業はありません。)

読み込みが完了したら、デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、下のように新しい「光磁気ドライブ」または「リムーバブルディスク」のアイコンが登録されていることを確認してください。

Windows XP の場合



3

Windows 2000 の場合



本製品のアイコン
ドライブ名は異なる
可能性があります。

本製品にフォーマットされた MO メディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットした MO メディアにアクセスすることができます。MO メディアのフォーマットについては、次ページをご参照ください。

3.2 フォーマットについて

Windows XP, 2000 の場合、MO メディアのフォーマットは付属のユーティリティ「MO メディアフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを
1 回クリックして、選択状態にします。



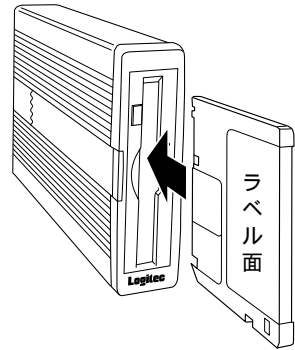
2. 「セットアップの起動」をクリックします。

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitec」とポイントし、「MO メディアフォーマッタ」をクリックすると起動できます。



3.3 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)

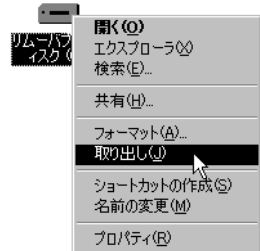


ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Windows XP, 2000上でMOメディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン(リムーバブルディスクまたは光磁気ドライブ)を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンはWindowsが起動していないときに使用します。Windows稼動中は使用しないでください。
- ・Windows XP, 2000でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administratorsグループ」等)としてログオンする必要があります。

3 . 4 本製品を取り外す場合は

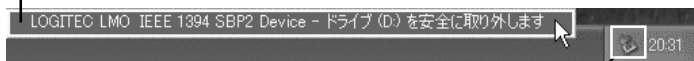
本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (D:)」を安全に取り外します」または「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (d:)」を停止します」を選択してください。

Windows XP の場合

この項目をクリック



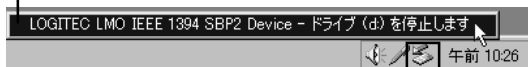
このアイコンをクリック
(右の拡大図参照)



拡大図

Windows 2000 の場合

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Point

ポイント

ここで「d:」はドライブ名ですので、環境によって異なります。

Windows XP では「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device」は安全に取り外すことができます。」というメッセージがでましたら取り外し可能となります。

Windows 2000 では「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device」は安全に取り外すことができます」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



IEEE1394 ケーブルを外し、AC アダプタを外してください。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第4章

Macintosh®の場合

4.1 接続とインストール

本節では本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順を説明します。

Point

ポイント

Mac OS X 10.2以降をご使用の場合、本製品を使用するためのドライバが標準で添付されているので、ドライバのインストール作業は必要ありません。「4.1.2項 本製品の接続」へお進みください。

4.1.1 ドライバのインストール

(Mac OS 9.2.2以前)

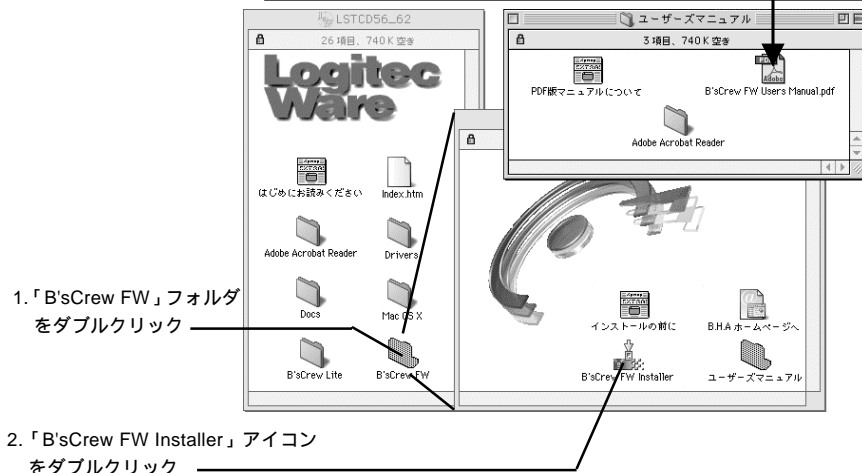
本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

「LogitechWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

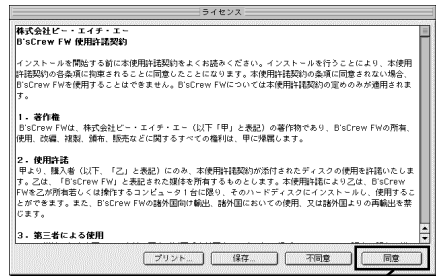
CD-ROMのウィンドウが開きますので、「B'sCrew FW」フォルダをダブルクリックして開き、展開される一覧の中から「B'sCrew FW Installer」と表示されたアイコンをダブルクリックしてください。

参考

ユーザーズマニュアルを参照するには「B'sCrew FW」フォルダ内のユーザーズマニュアルフォルダをダブルクリックして、フォルダ内のこのPDFファイルをダブルクリックします。

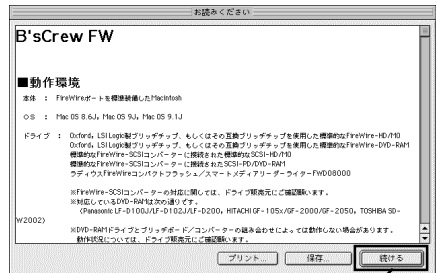


インストーラが起動して、使用許諾等が表示されます。



内容を確認して、同意する場合は「同意」をクリック

注意事項等が表示されます。



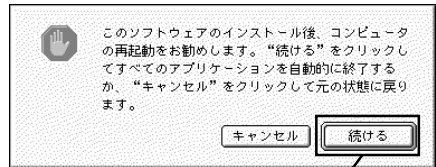
内容を確認して「続ける」をクリック

右のウィンドウが表示されます。



「インストール」をクリック

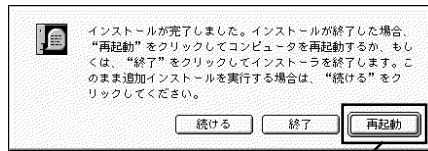
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。



他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック

4.1 接続とインストール

必要なファイルが転送されます。
終了すると右のウィンドウが表示
されます。



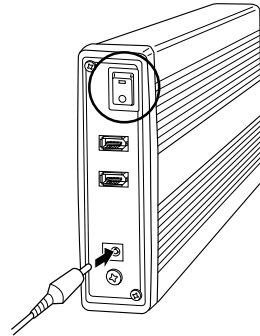
「再起動」をクリック

システムが再起動されます。以上でドライバのインストールは終了です。再起動が完了したら、CD-ROMを取り出しておいってください。再起動後本製品の接続を行います。

4.1.2 本製品の接続

パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動させてください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。



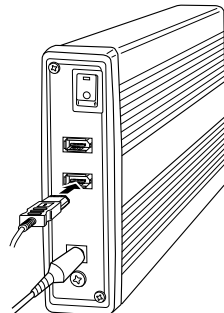
AC100V の
コンセントへ



ご注意

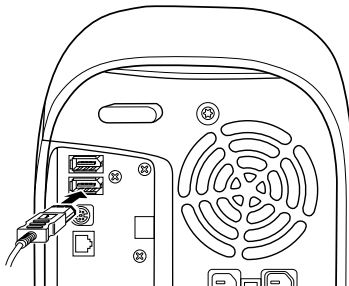
接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

次に本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。本製品に IEEE1394 コネクタは 2 個ありますが、どちらを使用してもかまいません。ここで使用しないコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままかまいません。



4.1 接続とインストール

最後に IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続します。



以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされた MO メディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。

(MO メディアのフォーマットについては、次節をご参照ください。)

4



参考

Mac OS X では本製品を接続すると自動的に認識され使用できる状態になります。

4.2 MOメディアのフォーマット

(Mac OS 9.2.2 以前)

本章ではMac OS 8.6 ~ 9.2.2までのOSをご使用の場合のMOメディアのフォーマット手順についてご説明いたします。



ご注意

Mac OS X 10.0.4 以降のOSでは、ここで説明するフォーマットソフトB'sCrew FWは動作しません。OS標準のDisk Utilityをご使用ください。

本製品を接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「B'sCrew FW」フォルダを開き、「B'sCrew FW」のアイコンをダブルクリックすると以下のウィンドウが表示されますので、ドライブを選択して「初期化」をクリックしてください。

2. 「初期化」をクリック

1. ドライブを選択して、



「初期化設定」ウィンドウが表示されます。「パーティションタイプ」のプルダウンメニューを開きフォーマット形式を指定してください。(下のポイント参照)

このプルダウンメニューを開き、フォーマット形式を選択します。



ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

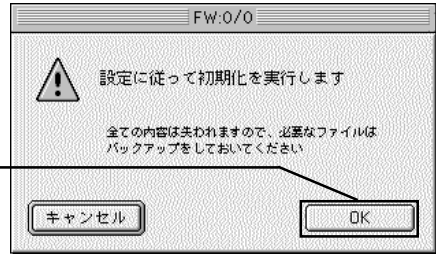
従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

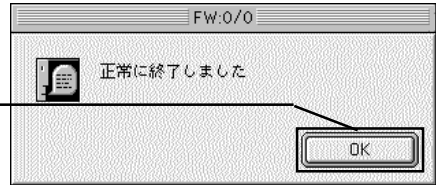
確認のメッセージが表示されます。

フォーマットをしてもいいことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行され、終了後右のメッセージが表示されます。

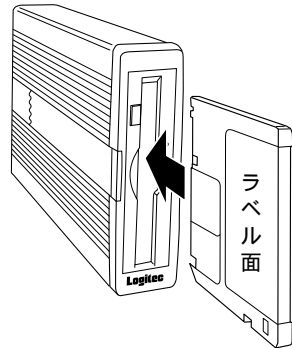
「OK」をクリック



以上でMOメディアのフォーマットは終了です。終了すると新しいMOメディアがデスクトップ上にマウントされます。

4 . 3 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。（間違った方向では挿入できません。）



ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Mac OS上でMOメディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされたMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OSが起動していないときに使用します。Mac OS移動中は使用しないでください。

4 . 4 補足説明

本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。



ご注意

複数のIEEE1394機器を併用している場合、他のIEEE1394機器をアクセスしている間は本製品の取り外しを行わないでください。

iBook (Dual USB) 特有の問題

以下の環境において、IEEE1394接続時に6ピン - 4ピンのIEEE1394ケーブルを使用するとまれに認識されない症状が確認されています。

パソコン：

iBook (Dual USB)シリーズ

M8520J/A, M7699J/A, M7692J/A, M7698J/A

上記のパソコンにIEEE1394接続する場合は、6ピン - 6ピンのIEEE1394ケーブルをご使用ください。6ピン - 6ピンのIEEE1394ケーブルが入手できない場合は、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

弊社テクニカルサポートの連絡先は本マニュアル最後のページに記載されていますのでそちらをご参照ください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

電源スイッチの状態、電源コードの接続、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

ケーブルの接続に接触不良などはありませんか。

IEEE1394 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？

本製品を IEEE1394 ハブ経由で接続している場合は、パソコン (IEEE1394 インターフェイスボード) の IEEE1394 ポートに直接接続して試してみてください。

多くの IEEE1394 機器を接続している場合、ケーブル長の制限、台数の制限を超えていないかどうか確認してください。また、接続にループが発生していないかどうかを確認してください。これらの制限等については「5.2 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

Windows XP, 2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー (例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等) としてログオンしていなければなりません。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってください。

MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

MOメディアに書き込みができない。

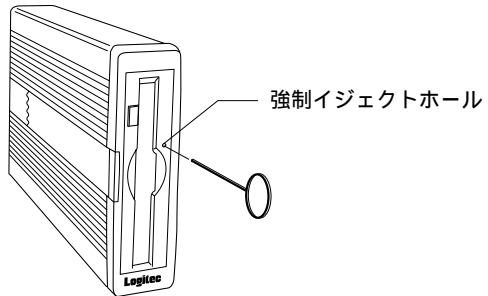
MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

MOメディアがイジェクト出来ない。

アクセス表示ランプが点灯していないか確認してください。アクセス中はイジェクトできませんので、アクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。

上記の項目に当てはまらない場合、一度本製品の再接続、および電源の再投入を行って試してください。それでもだめな場合は、本製品の電源をOFFにして、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに挿し込み、強く押してください。



ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行わないでください。

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。

MOメディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社のMacintoshシリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用してください。（MacintoshシリーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用するには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「1.1 製品の特徴」の「機種と使用可能なMOメディア」をご参照ください。

Macintosh環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

B'sCrew FW Driver

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

本製品の Macintosh 用ドライバに 関するお問い合わせについて

本製品付属の Macintosh 用ドライバ「B'sCrew FW Driver」に関するお問い合わせは、開発元である株式会社ビー・エイチ・エーで承っています。

お問い合わせ先は以下の通りです。お問い合わせの際には必ず B'sCrew FW Driver のシリアルナンバーをご用意ください。

「株式会社 ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター」

お問い合わせ電話番号 : 06-4861-8235

受付時間 : 月～土曜日 10:00～17:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く)

FAX でのお問い合わせ番号 : 06-6378-3336

FAX については、ご回答までにお時間がかかる場合があります。

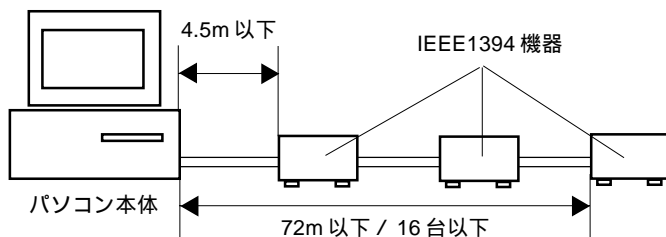
5.2 IEEE1394 機器の増設について



ご注意

本製品に増設できるのはセルフパワーで動作できるものに限ります。バスパワー（IEEE 1394 ポートからの電源供給）動作の製品は増設できません。

本製品のように IEEE1394 コネクタを 2 個装備している IEEE1394 機器は数珠つなぎ（デ이지チェーン型）に増設することができます。



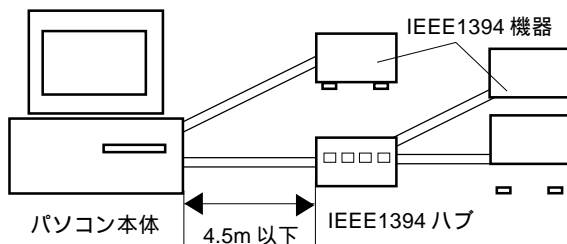
このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。



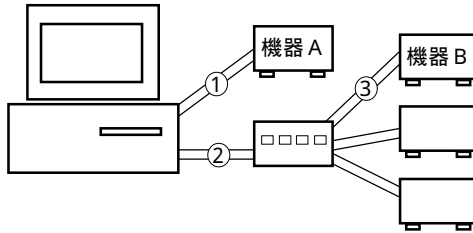
ご注意

デ이지チェーン型に増設する場合、ホットプラグ（電源 ON 状態での取り外し）を行う機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

IEEE1394 コネクタを複数装備したインターフェースボードや、IEEE 1394 ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A: ~ Z: でシステムが使用していないもの）に制限されます。



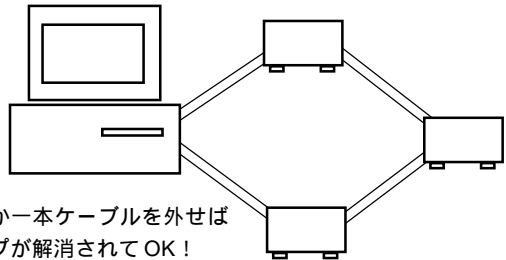
また、ツリー型の場合、IEEE1394 機器間で経由できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。例えば下図の「機器 A」と「機器 B」の間には 3 本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも 16 本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってははいけません。



これはダメ

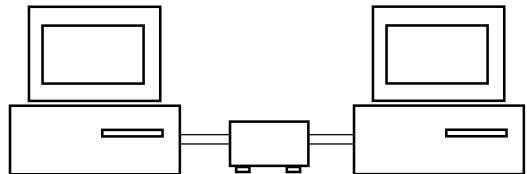


どこか一本ケーブルを外せば
ループが解消されて OK!

また、接続の中にパソコン本体が 2 台以上あってはいけません。



これはダメ



どっちで使うのかははっきり決めてよ!

5 . 3 保守とその他

メディアのクリーニングについて

MOメディアは1～3ヶ月に1回程度、別売のメディアクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

本製品用のメディアクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LMO-330-02

レンズ・ヘッドのクリーニングについて

空気中に浮遊するほこり、ちり、およびタバコの煙などが、本製品内部のレンズ・ヘッドに付着すると性能が低下することがあります。

本製品内部のレンズ・ヘッドは3ヶ月に1回程度、別売のレンズクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの使用法をご参照ください。

本製品用のレンズ・ヘッドクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LMO-640-02



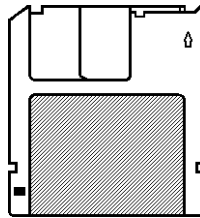
ご注意

- ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットを使用する場合は、ACアダプタを接続し電源を供給する必要があります。
 - ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットは必ず弊社販売の「LMO-640-02」をご使用ください。市販のものを無理に使用すると、機器を損傷する場合があります。
-

MOメディアのラベルについて

MOメディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにMOメディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なようにのりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2枚貼りするとMOユニット内部でラベルがはがれて、MOメディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



裏面に回る部分をはがれやすいのでしっかりと押さえます。

斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

ハードウェア仕様

機種名		LMO- A654F	LMO- A1354F
メディアタイプ		3.5 型 MOメディア *1	
ディスクあたりの記憶容量		640MB/ 540MB 230MB/ 128MB	1.3GB 640MB/ 540MB 230MB/ 128MB
平均シークタイム		23 ms	
ディスク回転数		5455 rpm	5455 rpm *2 3637 rpm
インターフェース		IEEE 1394- 1995 P1394a	
最大同期転送速度		400 Mbps *3	
キャッシュメモリ		2 MB	
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	0 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 85%
入力電圧		AC100V ± 10% 50/ 60 Hz *5	
消費電力 (定格)		7.0 W *6	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		36 × 123 × 221 mm	
質量		1.2 kg	

*1 対応メディアについては本書の 1 . 1 節参照。

*2 1.3GB MO メディア使用時は 3637rpm。

*3 理論値。

*4 ただし結露なきこと。

*5 AC アダプタ。

*6 AC アダプタを含む。

